

みんなで子育て No. 3

家庭教育学級リーダー研修会のアンケート集計結果報告

家庭教育学級の意義もよくわかり、学校と家庭の連携の大切さを再認識しました。PTA役員と教頭と一緒に聞くことができたので、情報共有やその後の打ち合わせもスムーズにできました。

他園の方針や取り組みを知ることができ、自分達の園でも取り入れていきたい事が多くありました。自分達だけでは出せなかった案や考え方を聞く事ができ視野が広がった様に思います。初めての事で戸惑っていた家庭学級でしたが、想像が持ちやすくなり、とても充実したものになりました。

「参考になりました。」という声を多数いただきました。「在宅取組型がたくさん紹介されて・・・」「他園や他校の今年の活動内容を聞くことができて・・・」「コロナ禍でもできる事例を色々と紹介いただき・・・」等など。学級長さんに活動の見通しをもっていただくというリーダー研修会の目的は、ほぼ達成できたのかなぁとうれしく思います。

ウェブ会議というものにはじめて参加してもらいました。交流会も含め、意外とスムーズにできるものなんだ、と感心しております。他校と情報交換をすることができて有意義な時間が過ごせました。

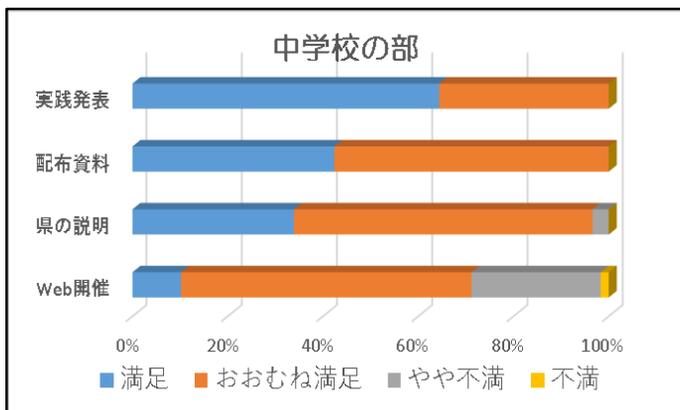
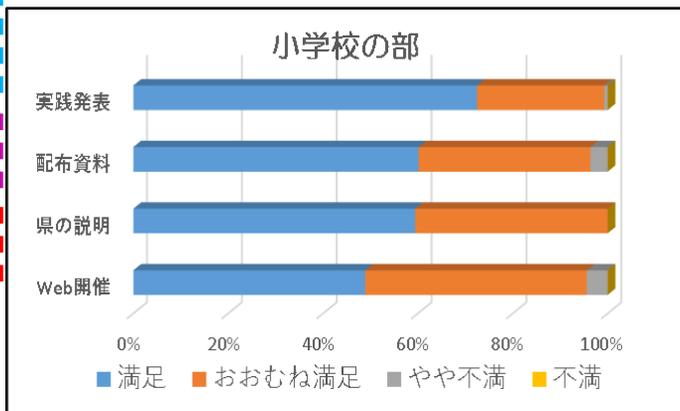
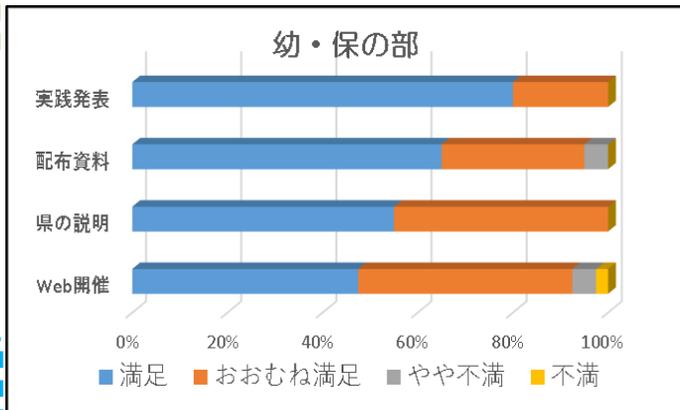
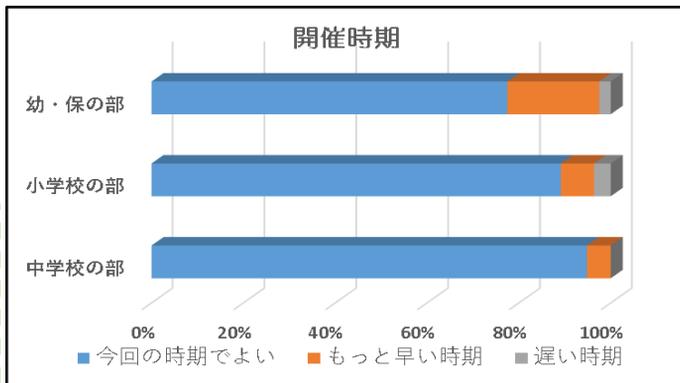
オンライン開催でしたので、仕事をもつ母親としては、大変参加しやすかったです。

オンラインの状況が悪く、音声滞ったため課題が残ったと思います。

昨年に続きオンラインでの研修会といたしましたが、中学校の部では音声の話の途中で途切れてしまう不具合が生じ、参加者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。また、そのために、後半の交流会の時間が短くなってしまい、十分な意見交流や討論ができず、満足いただけなかったことがとても心苦しいです。

対面型の研修、オンラインでの研修、それぞれ長所短所がありますが、他地区の遠距離にある学級との交流もオンラインであると可能です。

参考にしたい事例を見つけられた時などには、園や学校の担当者の方と共にオンライン交流にも挑戦していただけたらと思います。今回の研修をきっかけに、そのような交流が広がれば幸いです。学級同士がつながることで、家庭教育学級がより発展することを期待します。



リーダー研修会のアンケートには、たくさんのご意見や感想をご記入いただきありがとうございました。実践発表にいただいたものの一部を紹介させていただきます。

羽島市立西部幼稚園

テーマ：「親子のふれあいを通じて
豊かな心を育む家庭教育学級」
～コロナ禍だからこそ、親子のふれあいを大切に～

コロナ禍の中、できない、やれないではなく、できるように開催していく姿勢が素晴らしいと思いました。withコロナの中で私たちにできることを子どものために保護者のためにそれぞれの家庭のためにできることをお手伝いしていきたいです。無理なく開催したり進めていったりすることが大切だと思います。活動後にアンケートをとり、声を聞いていくことも大切なことだと再確認できました。

とても良い実践例ばかりで素晴らしかったです。コロナ禍で講師を呼ばずに行う在宅型でも、数多く家庭教育学級として提供できるものがあることを知れて良かったです。特にわかりやすく、簡単に実践しやすいシンプルな内容であることが大切とも感じました。自身の保育園でも実践できる内容は取り組みたいと思います。

コロナ禍で、活動が中止になったりする中でも、在宅取組型などを中心として、安心して親子で進めていけることは、いいことだと思います。本幼稚園でも、園全体で交通教室、田植え、バザーなど地域の方々とのつながりを大切にして、親子で参加する機会も多く、保護者同士の交流にもなり、家庭教育にもつながっているのではないかと思います。

本巣市立真桑小学校

テーマ：「親子で作る家庭での学習習慣」
～コツコツぐんぐんおうち勉強」の実践より～

同じ家庭学級でも学校によって、活動内容がこんなにも異なると思いがけなかった為、非常に参考になりました。主に子供の自主学習に力を入れて活動されている事例に関しては、今までの当校の家庭学級活動として案がなかった為、これからの活動に繋げていけたらと思います。本日はありがとうございました。

PTAを中心に家庭学習に取り組む、すばらしい実践だと思います。中学校に兄弟がみえる家庭は、特に成果があったことでしょうか。発表にもありましたが、負担が少なく、多くの成果を得ることができ工夫が大切だと感じました。ありがとうございました。

家庭学習の取組をPTA主催で行っていることが参考になりました。本校でも、年に2回、家庭学習パワーアップウィークとして、取り組んでいますが、学校主催です。保護者とともに…という意味で、大変参考になりました。ありがとうございました。

真桑小学校のコツコツぐんぐんおうち勉強とてもいい取り組みだと思います。中学の娘がいますので、家庭学習の大切さはすごく理解しています。小学生のうちから家庭学習の身につけを、重点を設定し、わかりやすく取り組む部分がよかったです。今後の活動にも役立てていけたらと思います。

各務原市立桜丘中学校

テーマ：「食の大切さを家族で」
～家族で作る絶品グルメ～

中学生のような思春期の時期には、実践発表のように何か一緒に活動しながらだと色々話しやすいように思いました。今回のように一緒に食事を作る活動が、日頃の感謝や、SDGsに繋がったりとても良い実践でした。ありがとうございました。

親子で活動をしながら、一つの料理をつくりあげる取り組みが素晴らしいと思いました。活動の中では会話もあり、食や命についても学ぶことができました。映像に出てきた料理からも、中学生が、いきいきと取り組んだ様子がうかがえます。大変参考になりました。

実践発表では、啓発するだけでなく、生徒や保護者に活動のよさを還元しているところがとても素晴らしいと思いました。料理作りを通して、時間や活動を共有し、お互いのことを知ることのできるよい機会になると思いました。

「ハグ」の効能

リーダー研修会「幼・保の部」では、「ハグ」や「折り紙」の取り組みについての感想や質問がありました。「ハグ」の取り組みを計画に入れてみえる学級も少なくありません。

既に親子でハグすることの良さを実感してみえるからかもしれませんが、ハグの効能について少し調べてみました！

親子ハグをすることで、双方に「よく眠られるようになる」「健康になる」「幸せな気分になる」「ストレスが軽減される」などの効能があるみたいです。

ハグをすることで、「親和性ホルモン」とよばれるオキシトシンが増え、副交感神経系の活動が高まり、不安感やストレスが減少し、免疫系や心臓血管系が強くなることによるものと考えられています。

《リーダー研修会のアンケートより》

私には10歳の息子と5歳、1歳の娘がいます。基本的に毎日ハグをしています。そのおかげなのかはわかりませんが、3人とも思ったことや日々のことなど、よく話してくれるので、子どもの気持ちがわからない！と思ったことはあまりないです。

泣いている赤ちゃんを抱っこすると泣き止むことが多いですが、抱かれることで不安が解消され、心が満たされていくためだと考えられます。子どもが不安でお父さんやお母さんに抱っこを求めているときには、たとえ小学生になっていても抱きとめてあげることが大切だといわれています。

家庭教育プログラム(乳幼児期編)「みんなで子育てⅡ」に、プログラム10『スキニップ』として、ワークシート、資料、進行案が掲載してありますので、これらを活用して家庭教育学級を開催することが可能です。冊子がお手元にならない場合は、岐阜県HPよりダウンロードしてお使いください。

スキニップは誰のため？(乳幼児期)

こんなことはありませんか・・・？

2歳のりおちゃんは、言葉の数は増えてきましたが、自分の思いを伝えられません。おかあさんの「抱っこ」が大好きで、一日に何度も「抱っこー！」とせがみます。でも、りおちゃんの体は大きくなり、抱っこすると、ずっしりと重みを感じるようになってきました。

最近おかあさんが困っているのは、重い物で重い荷物を持っているときや、大事な電話をしているときに、「抱っこ」をせがまれることです。スキニップは大切だと思っていますが、こんなとき、どうしていいかわかりません。



ワーク1 みなさんも、無理なときに「抱っこ」を求めてくるわが子への対応を出し合ってみましょう。



ワーク2 みなさんは、お子さんどのようなスキニップの時間をとっていますか。日頃、実践していることを交流しましょう。

◆他の方の意見をメモしましょう！

いいね！

いいね！

○資料のスキニップに取り組んでいる保護者の感想を読んでみましょう。図書館で本を借りて「絵本の読みかせ」もいいてね。

今日からぜひやってみてくださいね。お疲れ様でした。



子どもの要求は丁寧に応えてやることは、親の大切な役目じゃあ。子どもが話しかけてきたときには、スマホの画面を見ていたとしても、顔をあげ、子どもの目を見て話を聞いてあげて。スマホよりもあなたが大事」というメッセージが伝わるもんじゃあ。

でも、すべてにできる時間もあるかな。そんな時はなぜできないのか、いつできるのかを把握してやると、結構子どもって理解するもんなんじゃあ。

プログラム10 スキニップ(乳幼児期) 資料編

◆スキニップは、なぜ大事なの？

お母さんは、スキニップをすることで、子どもがかわいく思えます。

スキニップを図る → ハグ愛着(親子の絆づくり) → オキシトシン(愛情ホルモン) → 子どもへの愛情が増す。世話する能力が活性化される。



子どもは、スキニップをすることで愛されているという安心感をもちます。

私は愛されている **自己肯定感** 私は存在しているんだ

子どもは、愛されている安心感をもつと、いろいろなことにチャレンジするエネルギーと勇気がわいてきます。そして、チャレンジしたことができたとき、「うれしい」「またやりたい」と心から思います。それが、自信になり、自己肯定感になっていきます。

「抱っこ」のあたたかい思いは、次世代の子育てへ受け継がれていく大切な時間です。0～5歳の頃は、スキニップで自己肯定感を育てましょう。



家庭教育学級動画資料が、岐阜県のHPにアップされています。右の画像は、「愛着」の啓発動画の一部です。スキニップやハグが愛着形成によいことを紹介しています。

家庭教育学級の活動の一環として、「ハグ」を取り入れられる場合は、活動案内文の中に、この動画教材を紹介したり、視聴を促すなどして、是非ご活用ください。

育児ストレス → 共感性の低下

スキニップを図る → ハグおさ見つけハイタッチ

↓

オキシトシン(愛情ホルモン)

↓

「養育に適した脳」

再生 (0)

子どもを愛し、世話する能力が活性化された脳

5:41 / 6:21